

# 進路通信あすなろ

2019年4月26日発行  
伊丹西高等学校進路指導部  
【第01号】

## 進路指導部長より

私の尊敬する出口治明さんの記事が掲載されていたので紹介します。みなさんが進路を考える上で参考になると思います。(PRESIDENT Online より引用しました)

### 立命館アジア太平洋大学(APU)学長 出口治明さん

現在の日本は起業家、ベンチャー企業が育ちにくいといわれています。理由の1つは教育です。日本の製造業で求められた人材と、新しい産業を生む人材は根本的に違います。製造業に向いている人材は、素直でよく勉強して偏差値がそこそこ高く、我慢強くて協調性があるタイプです。つまりは、上司の命令をよく聞いて成果を出せる人材です。しかし、こういうタイプから画期的な新しいアイデアはなかなか出てきません。例えばアップルを創業したスティーブ・ジョブズ、グーグルの共同創業者であるラリー・ページやセルゲイ・ブリンなどは、個性が際立っている。あるいはめちゃくちゃ高学歴で、自分が好きなことを徹底的に究める。そして異質の組み合わせでイノベーションを生みだすことを好みます。新しい産業を創出するベンチャー企業は、高学歴の尖った人材がたくさん集まり、ダイバーシティにあふれている。これは何もアメリカに限った話ではありません。それぐらい尖った人材を育てることは急務ですから、僕は高校の段階で「偏差値コース」と「変態コース」に分けたらどうかと考えています。「変態コース」という名称がおかしければ、「個性派コース」と呼んでもいいでしょう。自分が好きなことを徹底的に究める人材が3割ほどいるイメージです。そうでなければ、スティーブ・ジョブズは日本の若者の中から出てきません。

少し補足すると、従来の日本社会で求められていた人材像が、これからは大きく変化するという事です。言われたことをきっちりこなす偏差値の高い人材から、新しい発想や物を生み出すことのできる創造性豊かな人材へと変わっていきます。西高のみなさんも、偏差値コースよりも個性派コースを目指しませんか？その方がきっと未来に活躍できます。さらに引用します。

時価総額で世界のトップ企業を見ると、平成元年(1989)は世界ランキングの1位から5位までを日本企業が独占し、上位20社のうち実に14社が日本企業でした。ところが、平成30年(2018)になると、世界の上位20社に日本企業はランクインしていません。最高でもトヨタ自動車の35位です。

西高のみなさんのお父さん、お母さん、あるいはおじいさん、おばあさんの時代は、日本は国際的にも高い競争力を持った経済大国でした。ところが、みなさんが生きる現在は違うのです。

日本で一番大きなトヨタ自動車ですら世界では35位。残念です。世界のトヨタといわれた時代がかつてはあったのです。ではどうすればいいのか。次の出口さんの言葉からヒントを見つけましょう。

「人から学ぶ、本から学ぶ、旅から学ぶ」

西高で出会う同級生や先輩、先生方から学ぶ。読書に挑戦して本からたくさんのことを学ぶ。旅はずっとできるものではないので、体験することとらえて、部活動やボランティアなどに取り組み、社会体験を積む。この3点ならみなさんもチャレンジできます。予測のつかない未来に対して、今、私たちができることは何なのか、しっかり考えていきましょう。

進路指導部長 ○○ ○○

## Next11[ネクスト・イレブン]について

Nextの意味には、「西高卒業後の次の進路」という意味と「第一に国公立大を目指す、その次に進学先として考える私立大学」という2つの意味があります。具体的には、関関同立・産近甲龍(関西大・関西学院大・同志社大・立命館大、京都産業大・近畿大・甲南大・龍谷大の8大学)に、大阪経済大・大阪工業大・関西外国語大を加えた、11大学を言います。

## 進路指導部とは

進路指導部は、進路ガイダンスや進路講演会の企画・運営、進路情報の提供、インターンシップ・就職指導など多岐にわたりますが、みなさんの進路実現のサポートをする部です。担当者は以下の通りです。

進路指導部長	○○ ○○	就職・進学担当	○○ ○○
進学・就職担当	○○ ○○	進学・就職担当	○○ ○○
進学・就職担当	○○ ○○		



## 合格体験記

次の文章は今春本校を卒業した第38回生が書いてくれた合格体験記からの抜粋です。今後の充実した学校生活を送るために、また進路実現するために参考にしてください。

### 進学 島根大学

あたりまえのことですが、大事なことは毎日継続して勉強することです。また、日々の学校の授業をまじめに受けることです。これは絶対にしてほしいことです。みなさんも進路に向かい、強い意志を持ち、継続的に頑張ってください。

## 「あすなろ」の名前の由来

人にはそれぞれに将来の夢や希望があります。「進路」とは、将来こんな生き方をしたい、こんな職業に就きたいという自分の将来像に向かって進むべき道のことです。自分の将来像を実現していく強い思いを、ヒノキ科の植物あすなろの「明日はヒノキになるう」という名前の由来に託しています。

